

「新型コロナウイルス」－4

<地に落ちた偶像>

「新型コロナ禍」が、大阪で猛威？。
一日の感染者数が、ついに1,000人越え。
吉村知事は、一生懸命にやっているようですが、何とも結果が出ない。
それどころか、大阪府民の受けを狙った陳腐な政策ばかりで失敗の連続。
「イソジン問題」「非常事態宣言解除要請」等、失策が多すぎる。
裏で、松井市長なんかが糸を引いているのかもしれない。



引用写真

さすがに、実利主義？の大阪府民もこれでは、納得できない。
今回も、この非常事態に米国からの菅首相の帰国を待つまで、「宣言」の要請をしない愚を重ねてしまった。

その点、「何もしない」（勝てない勝負には出ない）小*の*一さんの東京の方が、何とか踏ん張っている感じ。（といっても、ここのところ、感染者は500人／日前後に増大）
こちらは、「タヌキB」だから、好感度の点では、吉村知事には、およびもつかない。
実際、感染者数を発表するだけの「無策ぶり」なのだ。

「新型コロナ」（異種株も含め）は、拡散ルートが「飛沫感染」にほぼ特定できそう。
もし、空気感染なら、マスクを通すウィルスに毎日の電車の通勤客がひとたまりもない。
感染しても8割の人は「軽い風邪の症状で済む」。（最近の資料でも確認）
ただ、自分がその範囲なのか二割なのかは「抗体検査」をしないことには分からない。
また、無症状でも感染直後はウィルスをまき散らす恐れがある。

医療大国の日本で、独自ワクチンが出来ないのは、この国の硬直した制度のせいなのだろう。
とにかく、「新型コロナ」は、厄介な「感染症」には違いない。

2021年4月20日